

投稿年月日	平成 27 年 11 月 5 日	投稿者	北有馬中学校 3 年生
ご意見・ご提案 内 容	南島原市立北有馬中学校の 3 年生です。社会科の公民的分野で、地方自治の学習をしました。その学習の一環で、「将来的によりよい南島原市をつくるための活性化プラン」を私たちなりに考える活動を行いました。 来年は原城跡や日野江城跡などのキリスト教関連遺産が世界遺産に登録され、南島原市の「まち」が国内外から注目される見込みです。 そこで、「世界遺産巡りと温泉ツアー」を大々的にアピールしてはと考えました。そのツアーの中に、廃校を利用したレストランでの食事や資料館をを入れたらどうでしょうか。地元のおいしい食材を生かした本格的なイタリア料理などは、きっと観光の目玉になると思います。（ローマに派遣された少年使節にちなんでイタリアンです。） また、おいしい地元の野菜や加工食品などをそこで直売することで、農業をする「ひと」も活性化すると思います。地元特産品の PR もでき、ふるさと応援寄付がさらに増えるのではないのでしょうか。運動場跡を使えば、駐車場の心配もいりません。 遺跡巡りに興味があり、時間に余裕のある高齢者の方が市内の温泉でゆったりと疲れを癒やしながら宿泊することで、年間を通して宿泊関連の「しごと」も活性化するのではと思います。		
回 答	この度は、貴重なご提案ありがとうございます。 中学生のみなさんが、学習の一環として、南島原市の将来のことを考え、活性化のプランを作るという取組をされていることについて心強く思うとともに、その内容についても、具体的かつ夢のある提案で、非常に感心いたしました。 さて、ご提案内容に関してですが、現在、本市もみなさんの考えと基本的に同じ方向性での取組をしていこうと考えているところです。 世界遺産を核として、その他の地域資源（温泉も含みます）とを絡めた形でのルートや体験プログラムの充実、廃校や古民家などの再生（リノベーション）によるレストランや宿泊施設の整備推進、あるいは加工施設としての利用、市内物産の直売所の整備など、それぞれ担当部局で検討・推進をしているところです。 一例をあげますと、廃校の活用については、今年から 3 人の地域おこし協力隊を廃校活用プランナーとして雇用し、廃校の利活用を通じた地域の活性化プランの策定を進めています。 また、イタリア料理については、イタリア人の国際交流員が料理教室を開催しています。さらに、市には南蛮料理普及推進会もあり、各種活動を展開されています。将来的には、これらの取組が廃校や古民家を活用したレストランの整備と結びつく可能性もあるのではないかと考えています。		

	今年、本市では、人口減少という課題を克服し、この南島原市を活性化するため「南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画を策定しました。この中に、上で述べた取り組みの他、様々な施策を掲げております。市のホームページ上で公開していますので、ご一読ください。そして、今後も引き続き、ふるさと南島原市の将来について考えていただき、ご意見・ご提案くださいますようお願いいたします。
担当課	企画振興課・商工観光課